

山口県立山口図書館 中期運営計画具体化プラン

目次

1 主旨	1
2 ミッション	2
3 中期運営計画具体化プランの概要	4
(1) 「県立図書館機能見直し」実施方針	
(2) 中期運営計画具体化プランの重点的方策	
(3) ミッション・実施方針及び中期運営計画具体化プランの位置づけ	
4 中期運営計画具体化プラン	6
(1) 調査研究図書館～県民と「知識・情報」をつなぐ拠点～	
(2) 読書推進図書館～読書活動の拠点～	
(3) 全県ネットワーク図書館～図書館ネットワークの拠点～	
(4) 整理・合理化を進める事項	
5 中期運営計画具体化プランの推進体制	24
(1) 組織・体制の整備	
(2) 事業の進行管理と事業評価	
(3) ネットワーク型事業体制の確立	

1. 主旨

山口県立山口図書館では、平成17年10月に県立図書館あり方検討委員会により「県立図書館あり方検討委員会報告書」としてまとめられた県立図書館の役割と機能及びそれに対応する具体的方策に基づき、「市町立図書館への支援」の強化、「県民への図書館サービスの提供」の強化、「県立図書館と市町立図書館等とのネットワークづくり」の推進、と大きく三つの方針に沿って図書館運営を行ってきました。

一方で、「高度情報化社会」のさらなる進展や社会の一層の複雑化・多様化、国・地方を通じた厳しい行財政運営、読書離れ・活字離れの進行など社会情勢が急速に進展・変化しました。

これらの情勢変化に対応するために、文部科学省が平成18年4月に「これからの図書館像―地域を支える情報拠点をめざして―」を公表し、課題解決支援機能の充実や図書館電子化の推進など、これからの図書館サービスに必要な新たな視点や方策等を示したのを初めとして、平成20年6月図書館法改正など図書館関連法令等の整備も進んできました。

この状況を受け、平成20～22年度図書館運営協議会において、これからの県立図書館サービスのあり方についての検討を行い、以下の3つの観点から提言を得ました。

- ◆県立図書館としての独自性の強化
- ◆読書活動支援の強化
- ◆市町立図書館との新たな連携

この提言を踏まえ、県立図書館機能の重点化・集中化を行ってミッションの設定を行うとともに、ミッションを具現化するための方針として5年程度を期間とする「県立図書館機能見直し」実施方針を策定しました。

今回とりまとめた「中期運営計画具体化プラン」は、この方針の下に、さらに平成22～24年度図書館運営協議会で得られた新たな図書館サービスへの意見及び具体化方法についての提案を反映し、中期運営計画を具体化するための事業計画として策定するものです。

山口県立山口図書館は、ここに示す「ミッション」及び「中期運営計画具体化プラン」において明らかにした到達すべき県立図書館の姿を目指して、各事業に取り組みます。

2. ミッション

■山口県立山口図書館は、県民と「知識・情報」をつなぎ、地域文化の創造と継承および人づくりのための県域の拠点となります。

* 情報化、少子高齢化等、近年の社会情勢の急速な変化により、地域社会が解決すべき問題はますます複雑化し、あふれる情報の中で、県民一人ひとりが自ら考え判断することが求められています。こうした県民一人ひとりの意思決定と自己実現を支えるために、県立図書館には、広域的・総合的視点から、すべての県民に、多種多様な「知識・情報」の入手を支援していく役割があります。県立図書館は、蓄積された資料とノウハウを活かしつつ、司書の専門的知識により新たなサービスの開発やより高品質なサービスの提供を行うことにより、地域文化の創造と継承及び人づくりの拠点として山口県の「地域力」「県民力」の向上に寄与します。

1 山口県立山口図書館は、県民の「知りたい」「学びたい」「読みたい」という思いに応え、県民の暮らしと仕事を支えます。

* 情報化社会の進展により、流通する情報も大量かつ多様となり、日進月歩の情報技術が利便性を向上させています。その一方で、情報を入手する手段の有無等の条件によって、各個人に必要な情報収集力に大きな差が生じつつあります。県立図書館は、全ての県民が、必要とする「知識・情報」に到達でき、読書を楽しむことができるような広域的な環境づくり・仕組みづくりを進め、情報格差の解消を図り、県民の暮らしと経済活動を支えます。

〔重点項目〕

- ◆インターネット等の活用により、広域的利用を促進する。
- ◆県民の調査・研究を支える資料を収集し、他機関との連携を図り、司書の専門性を活かして情報提供サービスを強化する。
- ◆図書館の利用に障害がある県民に対し、情報格差の解消のため、様々な形の図書館サービスと読書の機会を提供する。
- ◆子どもの読書環境づくりのため、全県的な子どもの読書活動を推進する。

2 山口県立山口図書館は、県域図書館ネットワークの核となります。

* 県民の高度化・多様化する情報ニーズに対応するため、県内の公共図書館は、他の公共図書館や大学図書館、専門機関等と幅広く連携・協力することが求められています。県立図書館は、県域における「図書館のための図書館」として、県内図書館職員のスキルアップを図りながら、物流や情報共有を含めた図書館相互のネットワークを構築し、県民が県内のどこにいても質の高い図書館サービスを楽しむことができるような仕組みを整備します。

〔重点項目〕

- ◆全ての県民がどこにいても図書館サービスを利用できる仕組みを整える。
- ◆県立図書館と市町立図書館との機能分担を明確にし、県立図書館を中核とした市町立図書館、大学図書館等との協力・連携体制を構築する。
- ◆県内の情報共有を図り、県内の図書館を結ぶ核となる。
- ◆県内図書館職員のスキルアップをサポートする。

3 山口県立山口図書館は、「山口県の知」を世界へ未来へ伝えます。

* 県立図書館には110年にわたる豊富で貴重な資料の蓄積があります。中でも、幕末・明治維新期に関する資料、郷土ゆかりの作家による文学作品、大内時代から伝わる貴重資料など、山口県に関する多様なコレクションは、県立図書館の蔵書の核となるものです。県立図書館は、これらの蔵書群を適切に保存し、次代に向けて継承していくとともに、新たに出版される多様な資料を積極的に収集して充実を図ります。また、資料の積極的な活用を促進して、新たな文化の創造を促しさらに成長していく「山口県の知」のコレクションとして、さまざまな形で世界に向けて発信します。

〔重点項目〕

- ◆ 所蔵する貴重なコレクションを継承するとともに、その活用促進を図るため、資料を整理し、情報提供を行う。
- ◆ 山口県に関する資料を積極的に収集し、適切に保存するとともに、「山口県の知」のコレクションとしてさまざまな形で情報発信を行う。
- ◆ 県内図書館等と協力し、県内での山口県に関する資料の保存体制を整える。

3. 中期運営計画具体化プランの概要

「中期運営計画具体化プラン」では、県立図書館機能のあり方に関する検討結果を踏まえて設定したミッションを具現化するために、「県立図書館機能の重点化・集中化」を行う「県立図書館機能見直し」実施方針のもとに、平成23年度から平成27年度までの期間の中で到達すべき県立図書館の姿を示すとともに、具体的事業を取り組む方向性を提示します。

(1) 「県立図書館機能見直し」実施方針

「県立図書館機能の重点化・集中化」のため、以下の三つの方針に基づく図書館サービスに、重点的に取り組みます。

◆ 調査研究図書館 ～県民と「知識・情報」をつなぐ拠点～

*「知識・情報」を効果的に得ることの必要性が高まっていることから、広域的な視点から、県民と「知識・情報」をつなぐための仕組みづくりを進める

◆ 読書推進図書館 ～読書活動の拠点～

*読書こそ県民の知的活動の基礎として「県民力」向上のために不可欠であることから、これまでの子ども読書推進の実績を踏まえ、より多くの県民が読書に親しむことができるような「読書のバリアフリー化」を目指した読書推進に発展させる

◆ 全県ネットワーク図書館 ～図書館ネットワークの拠点～

*住民が身近に利用する市町立図書館サービスの充実に加え、県内に点在する多様な資料・情報を効率的に提供できる仕組みが必要であることから、県立図書館を中核とした市町立図書館、大学図書館、専門機関等とのネットワーク形成により、県内図書館が一体となった連携体制の構築を図る

(2) 中期運営計画具体化プランの重点的方策

「県立図書館機能見直し」実施方針を具体化するにあたって、以下に示す重視すべき観点に基づき、中期運営計画具体化プランを実行します。

◆ 具体化にあたっての重点的方策

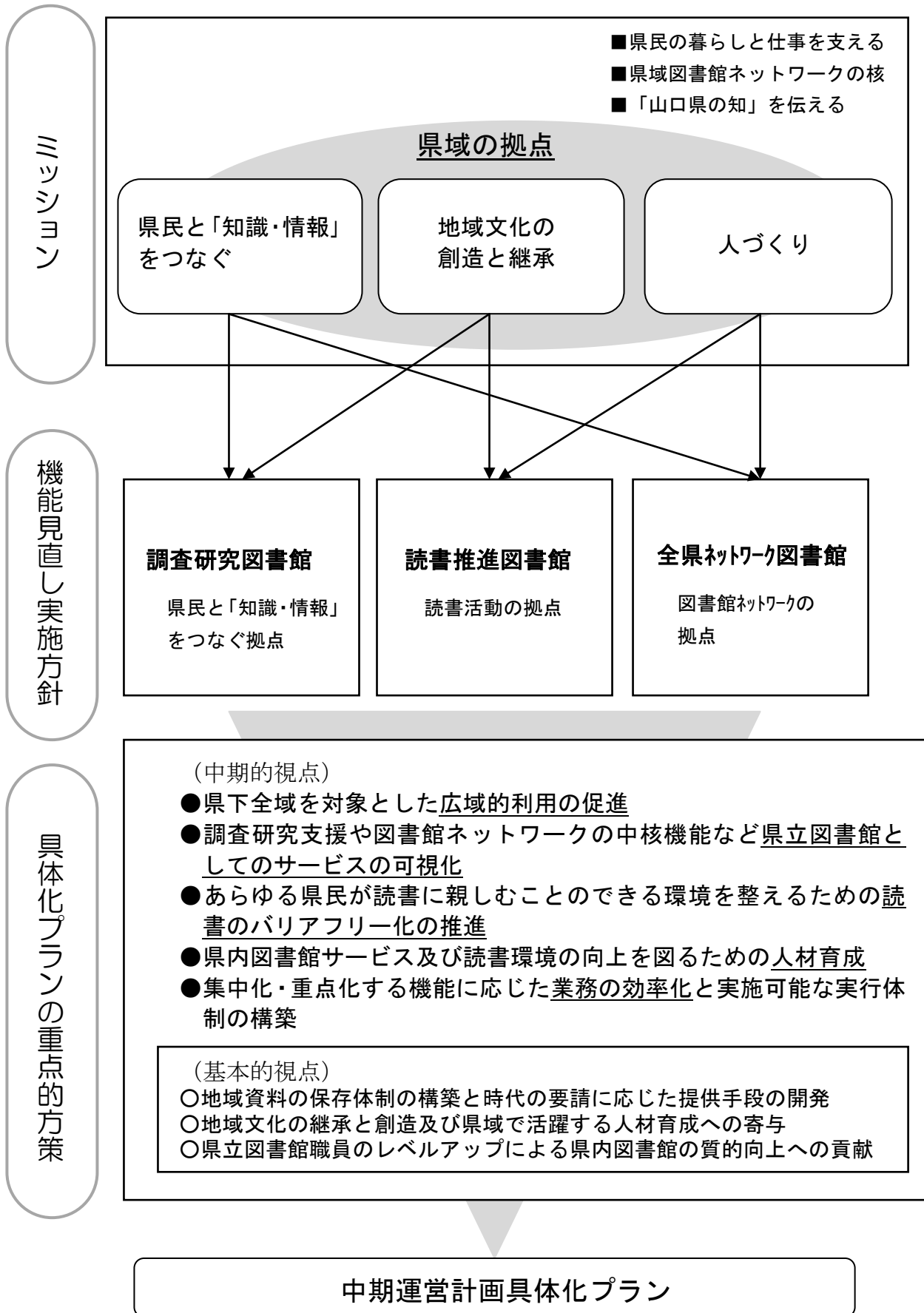
- ・ 県下全域を対象とした広域的利用の促進
- ・ 調査研究支援や図書館ネットワークの中核機能など県立図書館としてのサービスの可視化
- ・ あらゆる県民が読書に親しむことのできる環境を整えるための読書のバリアフリー化の推進
- ・ 県内図書館サービス及び読書環境の向上を図るための人材育成
- ・ 集中化・重点化する機能に応じた業務の効率化と実施可能な実行体制の構築

◆ 基本的な視点から継続的に取り組むべき事項

- ・ 山口県資料の保存体制の構築と時代の要請に応じた提供手段の開発
- ・ 地域文化の継承と創造及び県域で活躍する人材育成への寄与
- ・ 県立図書館職員のレベルアップによる県内図書館の質的向上への貢献

(3) ミッション・実施方針及び中期運営計画具体化プランの位置づけ

ミッション・「県立図書館機能見直し」実施方針・中期運営具体化プランの各々の位置づけを図示したものです。



4. 中期運営計画具体化プラン

＊凡例＊

- ・実行計画の○は実施、→は継続を示す。
- ・評価指標の_____線の項目は、重点指標を示す。

(1) 調査研究図書館～県民と「知識・情報」をつなぐ拠点～

【達成目標】

- 県立図書館では、多様な専門書やデジタル資料が揃い、経験豊かな司書による調査支援や読書案内が受けられる
- 県立図書館では、貴重な資料によるふるさとの文化への理解を深める展示があり、資料や調べ方の案内が受けられる
- 全ての県民は、近くの図書館で県立図書館の資料が利用できるほか、インターネット等を通じても県立図書館による様々な調査や読書についての支援を受けることができる
- 県立図書館は、時代に応じた新たな図書館サービスを研究開発し、蓄積されたノウハウをもとに、県内図書館職員や子どもの読書活動関係者等の研修を行い、県内図書館及び読書環境の向上に寄与している

【基本的取組】

ア 県民の「調査研究」を支える図書・資料収集への重点化（専門的な図書・資料収集へのシフト）

■ 図書・資料収集の重点化・効率化

① 図書・資料収集・データ整備方法に関する事項

- 専門的な図書・資料の重点的収集に向けた選書体制の整備
- 山口県資料収集の強化（市町立図書館との連携等の仕組みづくり）
- 資料収集基準等の明確化
- 山口県資料の書誌データ整備とデータ提供

＜実行計画＞

H23	H24	H25	H26	H27
	○方針改訂	→		
	○基準制定	→		
	○委員会組織	○選定委員会運営	→	→

＜具体的事業＞

- ◎ 収集基準、選書基準、保存年限基準、除籍基準の策定
- ◎ 山口県資料の発行状況の調査と収集（市町の主要な行政資料など）
- ◎ 資料選定委員会の組織、運営
- ◎ 国立国会図書館データベース参加のためのデータ抽出、加工、送付（総合目録データベース）

評価指標

- ◆ 参考・専門図書受入点数の全受入点数に対する比率（H22：30.7% → H27：45%）
- ◆ 山口県資料・明治維新資料受入点数の全受入点数に対する比率（H22：18.3% → H27：20%）

■電子書籍等、新たな媒体への対応と適切な収集

①電子書籍及び電子資料に関する事項

- 電子書籍の全国動向に係る情報収集、動向調査
- 県立図書館での電子書籍取扱研究
- デジタルコンテンツの収集、保存、提供
- デジタル行政資料、デジタル郷土資料（電子書籍も含む）の収集と保存

＜実行計画＞

H23	H24	H25	H26	H27
	○情報収集・動向調査	→		
	○導入方法研究・実証実験	→	○モデル構築	○導入検討
		○出版状況の情報収集	○郷土出版を中心とした収集開始	→

＜具体的事業＞

- ◎電子書籍の提供に関する研究
- ◎県立図書館での電子書籍取扱研究
- ◎国立国会図書館事業との連携のための情報収集、対応のための環境整備
- ◎デジタル行政資料、デジタル郷土資料の収集と保存
- ◎障害者向けデジタルコンテンツに関する情報収集、資料収集及び提供

②所蔵資料のデジタル化に関する事項

- 県立図書館資料のデジタル化研究
- 全国動向に関する情報収集、動向調査
- 県内図書館のデジタル化動向、意向把握
- 県立施設との連携検討（美術館、博物館、文書館等）

＜実行計画＞

H23	H24	H25	H26	H27
○防長新聞デジタル化・提供	→	→		
○情報収集・動向調査	→			
	○県内図書館意向把握	→		
	○県立施設連携検討			
○対象資料、保存・活用研究	→	○モデル構築	→	○導入検討

＜具体的事業＞

- ◎山口県資料・貴重書のデジタル化事業の推進と研究
- ◎防長新聞のデジタル化及び提供
- ◎その他の対象資料抽出、保存・活用方法研究
- ◎全国のMLA連携動向、他館での対応状況調査
- ◎県域ネットワーク研究と協議体制の構築
- ◎県立施設との連携検討（美術館、博物館、文書館等）

評価指標

- ◆電子資料受入点数の全受入点数に対する比率（H27：2%）

イ 「知識・情報」提供サービスの強化（調査相談・読書案内の充実強化）

■専門的機関との連携による調査研究支援体制の強化

①調査研究支援体制の整備・強化

- 調査研究支援体制の組織化・体系化
- レファレンス技術の維持・向上

＜実行計画＞

H23	H24	H25	H26	H27
○マニュアル適用、運用管理	→	→	→	→
	○研修体制整備	○研修実施、資格取得支援	→	→

＜具体的事業＞

- ◎「調査研究支援サービス規程」による運用
- ◎「レファレンスサービスマニュアル」の制定、運用
- ◎研修体制の整備（館内研修の実施、館外研修の活用）

②専門的機関との連携体制構築

- 調査研究支援に係る専門的機関との連携体制整備
- 専門的機関との情報交換のための組織構築および運営

＜実行計画＞

H23	H24	H25	H26	H27
○連携体制整備	○専門的機関との個別調整、相談対応依頼	→	→	→
	○専門的機関との情報交換の組織、運営	→	→	→

＜具体的事業＞

- ◎やまぐち産業振興財団、山口県産業技術センター、山口県健康づくりセンターとの連携
- ◎「仕事と暮らしのフロア」の棚づくりと公共の関係機関との連携
- ◎商工会議所等との連携（起業塾など）
- ◎公共の関係機関等の企画展との連携事業実施（資料紹介リストの作成、展示、資料貸与）

評価指標

◆連携事業・共催行事参加者数（H22：205人 → H27：575人）

■新たな利用者層へのサービスの提供

①新たな利用対象者（来館利用困難者、障害者、法人、団体、企業、行政機関等）の掘り起こしとサービス提供

- 新たな利用対象者の掘り起こし
- 新たな情報提供サービスの開発と提供
- 新たな資料管理手法の導入

＜実行計画＞

H23	H24	H25	H26	H27
○利用者開拓	○PR 活動	→	→	→
○コーナー設置	○サービス提供	→	→	→

＜具体的事業＞

- ◎新たな利用者層を対象としたコーナー設置
- ◎ニーズ調査、利用案内
- ◎有料データベースの整備
- ◎日本十進分類法(NDC)の変更(6版から9版へ)
- ◎ICタグの導入
- ◎貸出制限資料の見直し

②県立図書館サービスを可視化する事業の展開

- 県立図書館サービスの周知・広報の強化
- 情報発信機能の充実
- 図書館利用および読書に関わる新たな取組の検討
- 図書との新たな出会いをつくる仕掛けづくり
- 書庫を活用した事業の実施
- 小規模の利用者参加イベントの実施

＜実行計画＞

H23	H24	H25	H26	H27
○サービス開発	→	→		
	○サービス提供	→	→	→
	○広報活動	→	→	→

＜具体的事業＞

- ◎調べ方講座・図書館利用講座とあわせた定期的書庫ツアーの実施
- ◎展示リストの配布、パスファインダーの作成、web サイトの作成、解題つきの資料紹介
- ◎図書との新たな出会いをつくる仕掛けの実施(「棚」づくり・資料展示)
- ◎ポスター、ちらしの作成、ホームページの充実

評価指標

- ◆レファレンス(調査相談)件数 (H22 :10,029 件 → H27 :10,100 件)
- ◆パスファインダー作成数 (H27 :12 件/年)

③運営参加型の利用者へのサービス実施

- 職場体験・見学受入による広報・利用案内
- 図書館ボランティア養成と受入(活動の場を提供するサービス)の実施

＜実行計画＞

H23	H24	H25	H26	H27
○【インターンシップ等受入】実施、受入促進	→	→	→	→
	○サービス開発	○サービス提供	→	→
	○受入体制構築	○養成	○受入実施	→

＜具体的事業＞

- ◎職場体験、見学、インターンシップの受入
- ◎情報ボランティアの養成・活動の場の提供
- ◎ボランティアの受入体制の構築(配架ボランティア、補修ボランティア、情報検索ボランティアなど)
- ◎中高生の夏休みボランティアの受入(一日司書、長期受入)

評価指標

◆利用者参加型事業の参加者数及び職場体験・見学等受入人数 (H22 :504 人 → H27 :800 人)

■「ふるさと山口文学ギャラリー」の機能強化

①郷土文学資料の収集強化

- 「ふるさとの文学者80人」関連図書の収集

＜実行計画＞

H23	H24	H25	H26	H27
○収集継続	→	→	→	→

②やまぐち文学回廊構想推進協議会との連携による事業実施

- 企画展示の共催
- 連携事業の実施(ギャラリートーク、講演会等)

＜実行計画＞

H23	H24	H25	H26	H27
○新規・拡充	→	→	→	→

③「ふるさと山口文学ギャラリー」を活用した伝統文化教育活動

- 文学ギャラリーを活用した講座等の実施

＜実行計画＞

H23	H24	H25	H26	H27
○新規取組	→	→	→	→

＜具体的事業＞

- ◎調べ方講座・図書館利用講座とあわせた定期的書庫ツアーの実施
- ◎展示リストの配布、パスファインダーの作成、webサイトの作成、解題付きの資料紹介
- ◎子ども向けふるさと文学講座の実施
- ◎図書との新たな出会いをつくる仕掛けの実施(「棚」づくり・資料展示)
- ◎やまぐち文学回廊構想推進協議会及び参加機関との連携による展示等
- ◎県立大学附属郷土文学資料センターとの連携による展示等

■「明治維新資料室」「明治維新人物ギャラリー」等の活用促進

①関係資料の収集強化

- 明治維新資料の収集

＜実行計画＞

H23	H24	H25	H26	H27
○収集継続	→	→	→	→

②関係機関との連携による事業実施

- 維新史回廊構想推進協議会・県文書館との連携事業の実施

＜実行計画＞

H23	H24	H25	H26	H27
○新規・拡充	→	→	→	→

＜具体的事業＞

- ◎調べ方講座・図書館利用講座とあわせた定期的書庫ツアーの実施
- ◎展示リストの配布、パスファインダーの作成、webサイトの作成、解題付きの資料紹介
- ◎図書との新たな出会いを作る仕掛けの実施(「棚」づくり・資料展示)
- ◎維新史回廊構想推進協議会・県文書館との連携による行事等

評価指標

- ◆山口県文学および明治維新関係資料の展示資料貸出点数 (H22 :82点 → H27 :227点)

ウ 広域的利用の促進 (物流整備、インターネットの活用等)

■県民の調査研究活動等を支援するための広域的な図書・資料提供の促進

①県立図書館所蔵図書・資料の広域提供サービスの拡大

- 既存サービスの継続 (協力貸出・遠隔地返却)
- 新たなサービスの構築・実施 (受取館指定予約、レファレンス事例の公開等)

＜実行計画＞

H23	H24	H25	H26	H27
○【既存サービス】継続実施	→	→	→	→
○【新サービス】実施検討・システム構築・関係機関調整	→	○【新サービス】運用開始	→	→

＜具体的事業＞

- ◎webサービスの充実(予約、延期、SDI、受取館指定予約)
- ◎全額利用者負担による個人への宅配
- ◎ふるさと文献データベース等当館独自のデータベースの充実

②広域利用サービスに係る周知、広報

- 広域的利用者向けサービスの可視化

- 館外行事の実施
- 新規情報提供サービスの構築・強化
- 県民アンケート（県政世論調査、e・アンケートモニター、来館者調査等）
- 県内図書館との意見交換（広報手法など）

<実行計画>

H23	H24	H25	H26	H27
○県民アンケート	→	○県民アンケート	→	→
	○可視化事業検討	○可視化事業試行	○事業本格実施	→
	○意見交換	○手法検討	○手法再検討	→

<具体的事業>

- ◎展示リストの配布、パスファインダーの作成、webサイトの作成、解題つきの資料紹介
- ◎ポスター、ちらしの作成、ホームページの充実
- ◎双方向の情報発信（ブログ、SNS）の活用研究
- ◎市町立図書館を介した広報活動、利用促進

■広域利用を主体とした開館日等の設定（遠隔居住者の利用促進）

①遠隔地からの来館利用者へのサービス充実に向けた体制強化

- 土日、祝日出勤体制の拡充（3班から2班体制への移行）
- 遠隔居住者の利便性に配慮した開館日等の検討

<実行計画>

H23	H24	H25	H26	H27
○2班体制実施	→	→	→	→
	○開館日数等検討	○開館日数等変更	→	→

<具体的事業>

- ◎蔵書点検の日数減

■貸出制限資料の見直し

①調査研究に必要な資料の提供拡大

- 貸出制限図書・資料に係る貸出検討

<実行計画>

H23	H24	H25	H26	H27
○検討	○実施	→	→	→

■県民の調査研究支援のための講座等の開設・実施

①調査研究支援に関する県立図書館サービスを可視化する講座等の開設検討、実施

- 資料、情報検索
- 図書館利用 等

<実行計画>

H23	H24	H25	H26	H27
	○検討・試行	○実施	→	→

〈具体的事業〉

◎調べ方講座・図書館利用講座の館外開催

評価指標

- ◆市外利用者の貸出冊数における全貸出冊数に対する比率（H22：17.5% → H27：18.7%）
- ◆県立図書館ホームページのアクセス件数（H22：419,346件 → H27：464,640件）

エ 図書館運営に関する理論と実践を学ぶ場（蓄積された知識・経験の人材育成への還元）

■市町立図書館との連携・協力による人材育成

①読書活動関係者の研修

- 子どもの読書活動関係者の研修（図書館職員、学校関係、ボランティア）

〈実行計画〉

H23	H24	H25	H26	H27
○新規・拡充	→	→	→	→

〈具体的事業〉

- ◎子ども読書活動推進講座の実施（図書館職員など）（ステップアップ講座・スキルアップ講座）

■学校・関係機関等と連携した読書活動推進のための人材育成

①読書活動関係者の研修

- 子どもの読書活動関係者の研修（図書館職員、学校関係、ボランティア）
- 司書教諭、学校支援ボランティア、図書館研修等への講師派遣

〈実行計画〉

H23	H24	H25	H26	H27
○新規・拡充	→	→	→	→

〈具体的事業〉

- ◎子ども読書活動推進講座の実施（図書館職員など）（ステップアップ講座・スキルアップ講座）
- ◎学校図書館実践セミナーの実施
- ◎講師派遣

評価指標

- ◆研修受講者数（子どもの読書活動研修）（H23：333人 → H27：400人）

■図書館司書研修プログラムの充実

①市町立図書館職員研修の実施

- 全体研修
- 個別研修（受入研修、職員派遣など）

<実行計画>

H23	H24	H25	H26	H27
○【全体研修】継続実施	→	→	→	→
○【個別研修】一部受入	○本格実施(市町ニーズ調査、調整、対応)	→	→	→

<具体的事業>

- ◎基礎講座(初任者研修)
- ◎専門講習会(専門研修)
- ◎市町立図書館職員の受入研修
- ◎市町立図書館への職員派遣

②県立図書館司書職員のスキルアップ

- 図書館司書研修・育成のシステムの確立

<実行計画>

H23	H24	H25	H26	H27
	○研修体制の構築	○研修実施	→	→
	○【個別研修】本格実施(ニーズ調査、調整、対応)	→	→	→

<具体的事業>

- ◎研修体制の構築
- ◎専門分野をもった司書の育成
- ◎県立図書館全司書職員の研修支援
- ◎国立国会図書館実施の遠隔研修システムの受講
- ◎各種司書関係の資格取得支援

■図書館活動に関わる人材の育成

①大学の司書課程への協力

- 図書館実習受入等

<実行計画>

H23	H24	H25	H26	H27
○司書課程への協力(県大試行)	→			
	○協議調整、対応検討	→	→	○【司書課程】実習受入
○【インターンシップ等受入】 継続実施、受入促進	→	→	→	→

<具体的事業>

- ◎司書実習受入、講師派遣等(県内大学:山口大学、県立大学等)

②運営参加型の利用者へのサービス実施

- 図書館ボランティア養成と受入（活動の場を提供するサービス）の実施
【再掲：イ「知識・情報」提供サービスの強化の項に記載】

●子どもの読書活動関係者の研修（図書館職員、学校関係、ボランティア）【再掲】

評価指標

◆県内図書館員向け研修受講者数（H22：137人 → H27：150人）

(2) 読書推進図書館～読書活動の拠点

【達成目標】

- ▶ 山口県子ども読書活動推進計画に基づき、山口県子ども読書支援センターを中心に全県的な子どもの読書活動推進が行われており、センターに蓄積されたノウハウをもとに、県内図書館職員や子どもの読書活動関係者等のスキルアップのための研修が行われている
- ▶ 県立図書館では、これまで通常読書や図書館利用に困難があった方も、様々な形で読書と図書館利用の機会を得ることができる

【基本的取組】

ア 全県的な読書活動の推進（実績・成果を踏まえた山口県子ども読書活動推進計画の推進）

■山口県子ども読書支援センターによる事業実施

①山口県子ども読書支援センター運営

- 読書活動に係る情報収集、諸事業に係る効果実証・研究
- 関係機関等個別訪問、相談対応

＜実行計画＞

H23	H24	H25	H26	H27
	○新規・拡充	→	→	→

＜具体的事業＞

- ◎個別訪問、相談対応(市町立図書館、市町教育委員会、高等学校)
- ◎こどもとしよしつ運営

②子どもの読書活動推進事業の実施

- 子どもの主体的な読書への取組

＜実行計画＞

H23	H24	H25	H26	H27
	○新規・拡充	→	→	→

＜具体的事業＞

- ◎「2・3歳児のためのおはなしかい」の実施と検証
- ◎ 中高生による読み聞かせ講座、調べ方講座

■読書活動を推進する関係部局・機関等との連携

①関係部局等との連携

- 子ども読書活動推進連絡会の設置、運営

＜実行計画＞

H23	H24	H25	H26	H27
	○連絡会組織	○連絡会運営(情報収集等)	→	→

＜具体的事業＞

- ◎ 子ども読書活動推進連絡会の開催

②全県的な読書推進の機運醸成

- 読書啓発活動
- 広報活動
- 一般県民に対する読書講演会等の実施

<実行計画>

H23	H24	H25	H26	H27
○【読書啓発】従来対応	→	→	→	→
○【広報】現状検証・意見交換	○手法検討試行	○効果検証・本格実施	→	→

<具体的事業>

- ◎親子読書セミナー
- ◎家庭読書に関する募集行事及び展示

評価指標

- ◆子どもの読書に関する講師派遣件数 (H23 :25 件 → H27 :37 件)
- ◆研修受講者数(子どもの読書活動研修) (H23 :333 人 → H27 :400 人) 【再掲】

イ 読書活動を担う人材の育成（県民活動として読書活動を展開するための基盤づくり）

■市町立図書館との連携・協力による人材育成

①読書活動関係者の研修

※ (1)「調査研究図書館」の項に記載

■学校・関係機関等と連携した読書活動推進のための人材育成

②市町立図書館との連携協力

- 子ども読書活動に関する情報提供
- 県立図書館で実施した展示図書・資料の貸出

<実行計画>

H23	H24	H25	H26	H27
○継続実施	→	→	→	→

<具体的事業>

- ◎メールマガジンの発行、ホームページの更新
- ◎展示資料の一括貸出

■学校・関係機関等と連携した人材育成

※ (1)「調査研究図書館」の項に記載

評価指標

- ◆子どもの読書に関する講師派遣件数 (H23 :25 件 → H27 :37 件) 【再掲】
- ◆研修受講者数(子どもの読書活動研修) (H23 :333 人 → H27 :400 人) 【再掲】

ウ 県立図書館における読書環境の充実（多様な読書に対応するための環境整備）

■読書環境の向上と読書の雰囲気・空間づくり

①館内環境の向上

- 施設・設備のユニバーサル化

＜実行計画＞

H23	H24	H25	H26	H27
○検討・改修	○運用	→	→	→

②読書案内、調査研究のための雰囲気づくり（館内レイアウト整備等）

※（4）「整理・合理化を進める事項」の項に記載

■多様な利用者へのサービス体制の構築

①マルチメディアデジター図書の普及・啓発

- マルチメディアデジター図書の収集・提供・利用促進
- マルチメディアデジター室の活用推進

＜実行計画＞

H23	H24	H25	H26	H27
○準備	○運用	→	→	→

＜具体的事業＞

- ◎ マルチメディアデジター図書の収集、普及及び利用拡大
- ◎ マルチメディアデジター図書に関する研修の支援

②多様な利用者へのサービス提供

- 障害者・高齢者へのサービス
- 県内居住・来県外国人へのサービス（多文化サービス）

＜実行計画＞

H23	H24	H25	H26	H27
	○検討	○試行	○効果検証・本格実施	→
	○資料更新	○収集・提供	→	→

＜具体的事業＞

- ◎障害者への郵送貸出の利用促進
- ◎障害者・高齢者サービスの研究・開発（情報活用講座等）
- ◎外国語資料の収集

■「ふるさと山口文学ギャラリー」の機能強化

※（1）「調査研究図書館」の項に記載

評価指標

◆マルチメディアデジター図書等貸出数（H23：1,238点 → H27：2,434点）

(3) 全県ネットワーク図書館～図書館ネットワークの拠点～

【達成目標】

- ▶ 近くの市町立図書館の窓口を通じ、県立図書館や県内の他図書館の資料を利用したり、専門的な問い合わせや調査相談が受けられるように、**図書館間の物流、情報共有及び利用協定等の県内基盤が構築され、協力体制が維持**されている
- ▶ 国立国会図書館の各種データベースへのデータ提供や地域づくりイベントへの参加により、**山口県の文化を広く全国に発信**している
- ▶ 他の県立文化施設との連携や協力により、**山口県における文化・教育活動を支援**し、情報発信を行っている

【基本的取組】

ア 市町立図書館との連携・協力（資料の相互利用、情報・ノウハウの提供等）

■県内図書館グループウェア運営による情報共有

①山口県関係情報の共有化等

- 新たな県内図書館グループウェアの構築、提供

<実行計画>

H23	H24	H25	H26	H27
○システム構築	○運用方法整備	○運用	→	→

<具体的事業>

- ◎県内図書館グループウェアの利便性向上（図書館間の情報交換、県立図書館への図書貸出依頼等の機能追加）
- ◎山口県レファレンス協同データベースの構築

■協力貸出、物流の充実

①物流の充実

- 図書・資料搬送（協力車運行）の委託化
- 巡回頻度向上に向けた検討

<実行計画>

H23	H24	H25	H26	H27
○巡回頻度検討	○運用	→	→	→

<具体的事業>

- ◎巡回便増便（隔週→毎週）

②市町立図書館を介した広報活動、利用促進

- ※（1）「調査研究図書館」の項に記載

■図書館司書研修プログラムの充実

- ※（1）「調査研究図書館」の項に記載

■ 県内図書館協力体制の再構築

① 山口県公共図書館協議会等の再編

- 館長会議等の見直し・活性化

<実行計画>

H23	H24	H25	H26	H27
	○意見交換			
	○組織再編	→	→	→

<具体的事業>

- ◎ 山口県公共図書館協議会の再編
- ◎ 県立・市町立図書館長会議の見直し
- ◎ 県域内協定等の協議体制の構築

評価指標

- ◆ 巡回便搬送点数 (H23 : 31,924 点 → H27 : 34,000 点)
- ◆ 県内図書館員向け研修受講者数 (H22 : 137 人 → H27 : 150 人) 【再掲】

イ 大学図書館、専門機関等も含めた連携（学術研究、専門分野も含めた県域でのネットワークづくり）

■ 3館協定館（山口大学図書館、県立大学附属図書館）との資料貸借、情報交換

① 3館協定に基づく連携

- 資料相互貸借
- 共同事業、研修事業

<実行計画>

H23	H24	H25	H26	H27
○継続実施	→	→	→	→

<具体的事業>

- ◎ 資料相互貸借の継続
- ◎ 共同事業(防長新聞のデジタル化事業:山口大学図書館)
- ◎ 研修事業への相互参加

② 全県図書館ネットワーク構想策定

- 県内図書館所蔵図書・資料の全県的な相互利用のための仕組みづくり

<実行計画>

H23	H24	H25	H26	H27
	○構想検討・意見交換	→	○試行	○本格稼働

<具体的事業>

- ◎ 県内大学図書館も含めた物流システムの検討

■図書館活動に関わる人材の育成

※「調査研究図書館」の項に記載

■専門的機関との連携による調査研究支援体制の強化

※「調査研究図書館」の項に記載

■既存組織との連携・協力体制の再整備

①山口県図書館協会との連携・協力体制

〈実行計画〉

H23	H24	H25	H26	H27
○組織見直し	→	○新体制での連携・協力	→	→

評価指標

◆巡回便搬送点数(3館協定分のみ) (H23 :2,125点 → H27 :2,500点)

ウ 県外図書館とのネットワーク形成(県内外図書館をつなぐ結節点としての役割)

■国立国会図書館が運営する各種データベースへの参加

①国立国会図書館データベース参加のためのデータ抽出、加工、送付

- レファレンス協同データベース
- 総合目録データベース

〈実行計画〉

H23	H24	H25	H26	H27
○対応強化	→	→	→	→

〈具体的事業〉

- ◎レファレンス協同データベースへのデータ提供強化
- ◎総合目録データベースへのデータ提供継続
- ◎国立国会図書館の新サービスへの対応

②専門的機関との連携体制構築

- 調査研究支援に係る専門的機関との連携体制整備
- 専門的機関との情報交換のための組織構築および運営

評価指標

◆レファレンス協同データベースへのデータ提供件数 (H27 :30件/年)

エ 地域づくり団体等との連携（地域づくり活動等への協力）

■地域づくり、まちづくりイベントへの協力

①商工会議所等との連携事業の実施

- 日本のクリスマスは山口から
- 山口お宝展

＜実行計画＞

H23	H24	H25	H26	H27
○継続実施	→	→	→	→

＜具体的事業＞

- ◎「日本のクリスマスは山口から」への展示等による協力
- ◎「山口お宝展」への展示による協力

■パークロード周辺文化施設（美術館、博物館等）との連携

①企画展との連携事業実施

- 県立美術館
- 県立山口博物館

＜実行計画＞

H23	H24	H25	H26	H27
○継続実施	→	→	→	→

＜具体的事業＞

- ◎企画展関連図書展示、関連資料紹介リストの作成
- ◎企画展関連資料の貸与

評価指標

◆連携事業・共催行事参加者数（H22：205人 → H27：575人）【再掲】

(4) 整理・合理化を進める事項

■一般図書・資料の収集制限（娯楽要素の高い図書、実用書、新聞、雑誌等）

①「図書・資料収集の重点化・効率化」の中での対応

- 資料収集方針の改訂
- 資料選択基準の制定
- 保存年限基準、除籍基準の策定

<実行計画>

H23	H24	H25	H26	H27
	○方針改訂・基準制定	→		

■図書・資料収集範囲での役割分担

①全県図書館ネットワーク構想策定の中での対応

- 県内図書館との意見交換（役割分担検討）

<実行計画>

H23	H24	H25	H26	H27
	○意見交換・役割分担検討	→	→	→

■読書会文庫、貸出文庫及び地域文庫の市町立図書館への移管

①地域読書活動の支援主体への事業移管

- 読書会文庫：市町立図書館への図書移譲及び貸借ネットワーク構築
- 貸出文庫及び地域文庫：市町立図書館への機能移管

<実行計画> 対応完了

■図書・資料の搬送（巡回車運行）の委託化

※ (3)「全県ネットワーク図書館」の項に記載

<実行計画> 対応完了

■館内レイアウトの整備・変更

①館内レイアウト変更

- 取組目標を具現化した新たな館内レイアウトへの変更
- 新たなレイアウトに対応した館内案内・サイン計画の検討
- 新たな館内レイアウトに対応した窓口機能の分担

<実行計画>

H23	H24	H25	H26	H27
○意見交換・役割分担検討	○効果検証・修正	→	→	→

4. 中期運営計画具体化プランの推進体制

中期運営計画具体化プランの推進にあたっては、市町や関係機関の理解と協力を得ながら、評価指標に基づく自己点検と事業評価を実施するとともに、図書館運営協議会等の評価を踏まえ、新たな課題や状況にも対応できるように、成果の検証を進めていきます。

(1) 組織・体制の整備

「県立図書館機能見直し」実施方針に基づく業務体制及び組織運営の見直しを行い、中期運営計画具体化プランに取り組むための組織及び運営体制を作ります。

■ 業務体制

- ・ 図書館業務の整理（基幹業務・基幹支援業務）による効率的・効果的な業務体制の構築
- ・ 重複業務の統合及び重点的事業における横断的業務体制の整備
- ・ 中期運営計画具体化プランや業務マニュアルの制定等による職員の意識統一

■ 組織等の見直し

- ・ 新しいサービス体系にあわせたグループ制への移行と必要な職員配置

(2) 事業の進行管理と事業評価

「県立図書館機能見直し」実施方針に基づく業務体制及び組織運営の見直しを行い、中期運営計画具体化プランに取り組むための組織及び運営体制を作ります。

■ P D C A サイクルによる事業評価手法の確立

- ・ 年度別アクションプランの策定及び指標による着実な事業進行管理と適切な評価
- ・ 図書館運営協議会への報告による外部チェックの実施

■ 図書館運営協議会での新たなサービスのあり方に係る審議・提言

- ・ 利用者（県民）、学識経験者等外部の視点を踏まえた事業推進

(3) ネットワーク型事業体制の確立

「県立図書館機能見直し」実施方針に基づく業務体制及び組織運営の見直しを行い、中期運営計画具体化プランに取り組むための組織及び運営体制を作ります。

■ 広域的サービスのための連携・協議の場の確立

- ・ 市町立、県立、大学図書館等との全県図書館利用に関する協議の場の構築

■ 関連機関との連携・協力事業推進のための協議の場の確立

- ・ 読書推進や山口県資料の利活用等に係る市町立図書館、市町教育委員会、県教育委員会との協議・検討の場の構築
- ・ 県内専門機関との連携・協力体制構築